

名桜大学大学院 国際文化研究科 国際地域文化専攻

[博士後期課程]

Graduate School of International Cultural Studies, Meio University 2024

International Culture and Area Studies (Doctoral Program)



Contents

教育研究上の目的	P.1
養成する人材	P.1
3つのポリシー	P.2
教育課程	P.3
教員組織	P.4
研究指導スケジュール	P.4
修了後の進路	P.4
社会人も学べる教育環境	P.4
入学者選抜の概要	P.5
学費等納入金	P.6
入学後の奨学金制度その他について	P.6

国際文化研究科(国際地域文化専攻)

[博士後期課程]

環太平洋という視点に立って沖縄(琉球)・アジアと
(ハワイを含む)南北アメリカの地域文化研究を深化する

博士後期課程

研究科名：国際文化研究科
専攻名：国際地域文化専攻
学位：博士(国際地域文化)
標準修業年限：3年(長期履修)
入学定員：2名

Graduate School of International Cultural Studies
International Culture and Area Studies
Doctor of Philosophy in International Culture and Area Studies



Dean of the Graduate School
国際文化研究科長
赤嶺 守

2019年4月、名桜大学大学院に国際文化研究科国際地域文化専攻(博士後期課程)が開設され、今年で5年目を迎える。名桜大学大学院国際文化研究科国際地域文化専攻(博士後期課程)では、教育研究上の目的として「文化の多様性を理解し、グローバルな視点から国際社会が抱える多様かつ重要な課題の解決に向けた普遍的な研究を行い、高度な水準の研究を行うために必要な能力及び基礎となる豊かな学識を有する創造性に富む人材を養成する」ことを掲げている。

博士後期課程への進学は、みなが将来大学や研究機関のポストを目指しているわけではなく、図書館や教育委員会など実務の世界に身を置き高度な専門知識と応用能力を身につける高度専門職業人を目指す人もいる。社会のニーズが多様化し、高度化する中で、教員スタッフには専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得する創造性に富む人材を育成する「知を生む場」として、博士課程の充実をはかる努力が問われている。

地域に根差した特色ある大学院形成を目指す国際地域文化

専攻では、大学院教育において単に指導教員のみで指導を託すのではなく、総合演習において、大学院教員スタッフ全員が参加し院生に対する全体指導体制を構築している。また研究能力の高い院生については、研究領域の教員がいないことを理由に入学を拒否することなく、院生の研究領域に近い研究を行っている複数の教員による研究指導も実施している。博士後期課程の設置当時から指導教員数も7人となり、研究領域の幅が広がる中、研究環境も充実しつつある。院生たちには、新しい未知の世界を開拓し、それを体系化・深化させ社会に貢献する研究を是非進めてもらいたい。

▶教育研究上の目的

本博士後期課程は、文化の多様性を理解し、グローバルな視点から国際社会が抱える多様かつ重要な課題の解決に向けた普遍的な研究を行い、高度な水準の研究を行うために必要な能力及びその基礎となる豊かな学識を有する創造性に富む人材を養成することを目的とする。

▶養成する人材

本博士後期課程は、普遍的研究課題に取り組み、その成果を生かし研究者として活躍する能力を有する者及び専門分野に加えて環太平洋地域に関する幅広い学識と国際感覚を有する者の養成を目指す。



- (1) 高度の普遍的な研究能力を有する研究者の養成
- (2) 地域の社会文化振興の諸課題に的確かつ柔軟に対応できる研究者の養成

3つのポリシー

国際文化研究科 国際地域文化専攻(博士後期課程)は、普遍的研究課題に取り組み、その成果を生かし研究者として活躍する能力を有する者及び専門分野に加えて環太平洋地域に関する幅広い学識と国際感覚を有する者の養成を目指す。

I ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与方針)

国際文化研究科国際地域文化専攻(博士後期課程)は、以下の要件を満たした大学院生に博士(国際地域文化)の学位を授与します。

1. 国際地域文化という観点から、高度の外国語運用能力を駆使し、沖縄(琉球)・アジアと(ハワイを含む)南北アメリカに特化した環太平洋の地域文化の研究を行い、地域社会や国際社会において活躍できる能力を有すること。
2. 本学が立脚する琉球・沖縄の歴史や文化の研究を深化し、その成果を沖縄の地域創生に役立て、国内外の学生や研究者との共同研究を通じて国際感覚を磨くとともに、先端的な理論と知識を創造する能力を有すること。

II カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施方針)

ディプロマ・ポリシーで示した能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。

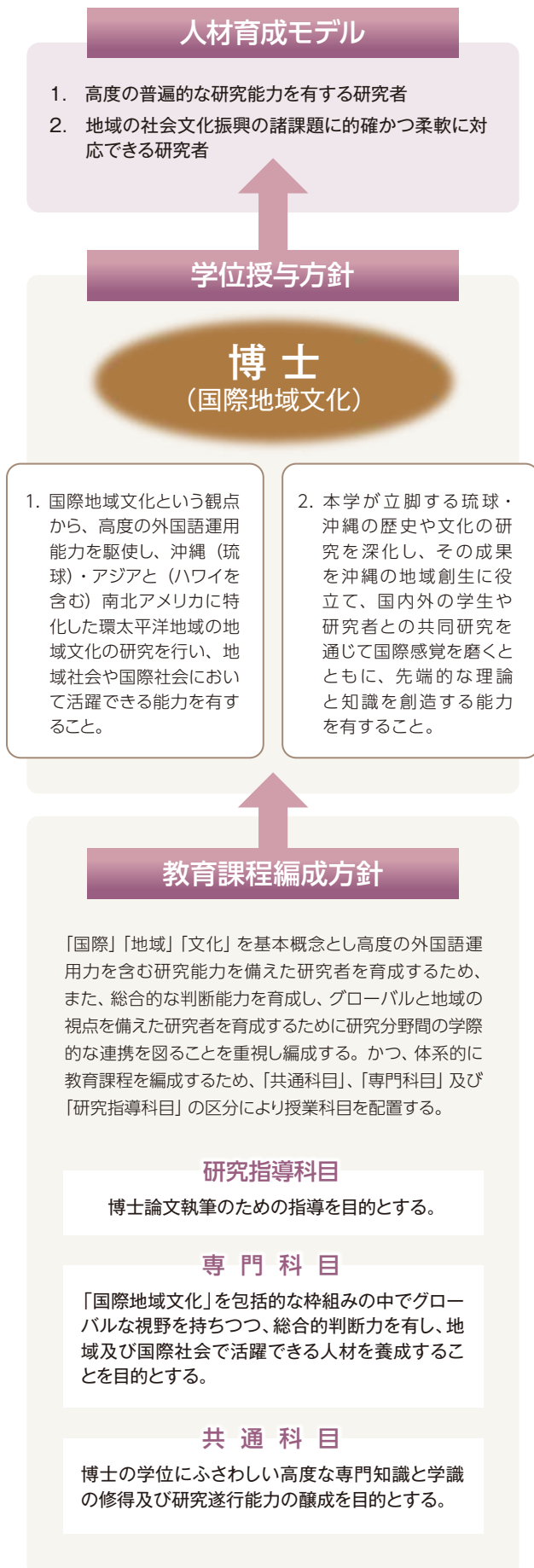
1. 「国際」「地域」「文化」を基本理念としてカリキュラムを編成し、高度の外国語運用力を含む研究能力を備えた研究者を育成する。
2. 総合的な判断能力を育成し、グローバルと地域の視点を備えた研究者を育成するために、研究分野間の学際的な連携を図る。
3. 博士の学位にふさわしい高度な専門知識と学識の習得及び研究遂行能力の醸成を目的に共通科目を編成する。
4. 専門科目は、複数の専門分野に関連する研究課題にも応用できる研究能力を醸成することを目的に、沖縄(琉球)・アジア研究及び(ハワイを含む)南北アメリカ研究に関する専門科目及び関連科目により編成する。
5. 博士論文執筆のための指導を行う研究指導科目を編成する。

III アドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

国際文化研究科国際地域文化専攻(博士後期課程)に入学を希望する人には以下のことを求めます。

1. 環太平洋の地域及び文化的課題に関して、課題解決に向けて理論的分析及び評価を行うための修士課程修了程度の専門的知識と研究能力を有していること。
2. 高度な外国語運用能力及び総合的判断力を有し、他者との対話を通して現代社会の課題を理解・分析した上で、研究成果を多様な方法で表現する能力を有すること。
3. 多様な文化と視点を理解・尊重し、自らの研究成果を明晰に表現する能力を有すること。

(1) 教育課程編成の基本方針



(2) 教育課程の特色

共通科目に配置する「国際地域文化総合演習Ⅰ」、「国際地域文化総合演習Ⅱ」は、本課程の特色科目として、本学のおかれた地域的特性に鑑み、すべての学生にとって必修科目とし、本博士後期課程の研究指導教員及び研究指導補助教員全員が参加し、学生の発表、報告等について質疑応答・討論を行う演習方式の科目である。学生の発表に対して異なる研究分野からの視点を導入することで学生に多様な視点から自らの課題を検討する機会を与え、沖縄（琉球）・アジアと（ハワイを含む）南北アメリカに特化した環太平洋地域について理解を深めることを目的としている。

(3) 教育課程

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		
			必修	選択	自由
共通科目	国際地域文化総合演習Ⅰ	1前	2		
	国際地域文化総合演習Ⅱ	2前	2		
専門科目	琉球・沖縄文化特論	1・2前		2	
	琉球文学特論	1・2前		2	
	琉球歴史学特論	1・2前		2	
	南島民俗文化特論	1・2前		2	
	日本古典文学特論	1・2前		2	
	日本近代文学特論	1・2前		2	
	中国琉球関係史特論	1・2前		2	
	20世紀アメリカ近代文学特論	1・2前		2	
	中南米地域文化特論	1・2前		2	
	東アジア地域文化特論	1・2前		2	
	東南アジア地域文化特論	1・2前		2	
	英語教育特論	1・2前		2	
	現代沖縄教育特論	1・2前		2	
アジア太平洋国際関係特論	1・2前		2		
研究指導科目	特別演習Ⅰ	1前	2		
	特別演習Ⅱ	1後	2		
	特別演習Ⅲ	2前	2		
	特別演習Ⅳ	2後	2		
	特別演習Ⅴ	3前	2		
	特別演習Ⅵ	3後	2		

※「1前」「1後」… 数字は学年、「前」は前学期、「後」は後学期を指す。

(4) 修了要件

修了要件は、博士後期課程に3年間在籍し、必要な研究指導を受けた上、次の要件を満たすこととする。

- 共通科目（必修）の2科目4単位、専門科目（選択）から2科目4単位以上、研究指導科目（必修）の6科目12単位、合計10科目20単位以上を修得すること。
- 研究論文1編以上が査読付学術誌において掲載、または受理された上で博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格すること。

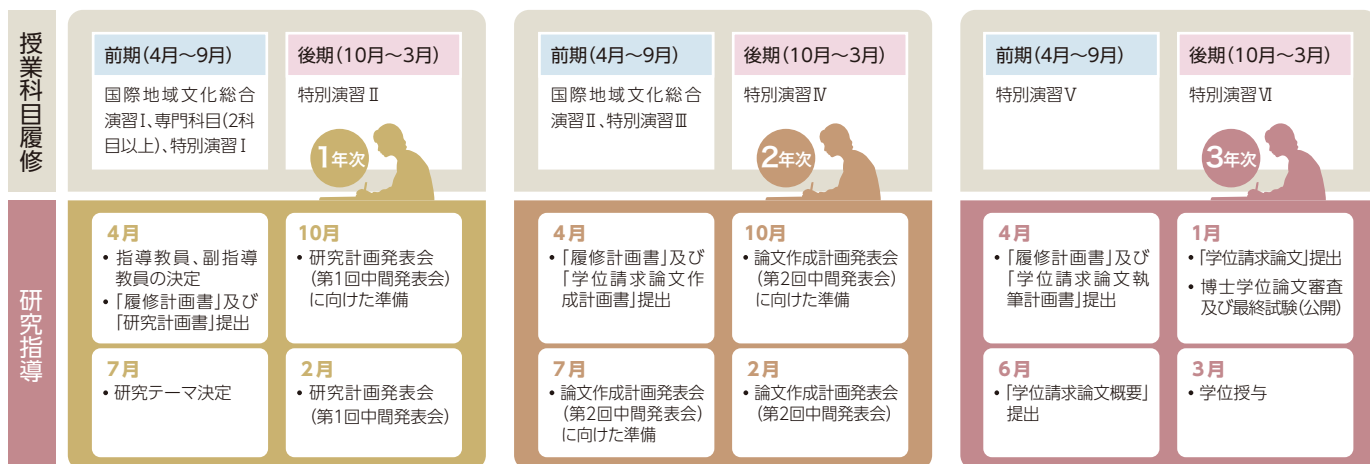
研究指導(博士論文指導)教員

No. 研究分野	教員名	担当授業科目
1 琉球文学に関する研究	波照間 永吉 (教授)	国際地域文化総合演習 I~II 琉球・沖縄文化特論、特別演習 I~VI
2 南島地域の民俗文化に関する研究	山里 純一 (教授)	国際地域文化総合演習 I~II 南島民俗文化特論、特別演習 I~VI
3 中国・琉球関係史に関する研究	赤嶺 守 (教授)	国際地域文化総合演習 I~II 中国琉球関係史特論、東アジア地域文化特論、特別演習 I~VI
4 中南米地域文化に関する研究	住江 淳司 (教授)	国際地域文化総合演習 I~II 中南米地域文化特論、特別演習 I~VI
5 インタラクションにおける英語聴解力とプロセスに関する研究	渡慶次 正則 (教授)	国際地域文化総合演習 I~II 英語教育特論、特別演習 I~VI
6 学校と地域の教育に関する研究	嘉納 英明 (教授)	国際地域文化総合演習 I~II 現代沖縄教育特論、特別演習 I~VI
7 アジア太平洋地域の国際関係や政治外交に関する研究	高嶺 司 (教授)	国際地域文化総合演習 I~II アジア太平洋国際関係特論、特別演習 I~VI

講義科目担当教員

No. 教員名	担当授業科目	No. 教員名	担当授業科目
1 小番 達 (教授)	日本古典文学特論	4 小嶋 洋輔 (教授)	日本近代文学特論
2 坪井 祐司 (上級准教授)	東南アジア地域文化特論	5 Meghan Kuckelman (上級准教授)	アメリカ近代文学特論
3 照屋 理 (上級准教授)	琉球文学特論	6 屋良 健一郎 (上級准教授)	琉球歴史学特論

研究指導スケジュール



修了後の進路

- 国内外の大学や研究機関、官庁、NPO等における研究者
- 環太平洋地域を中心とした国際機関や公的機関、教育機関

社会人も学べる教育環境 社会人が仕事を続けながら学修できる教育環境

昼夜開講制を導入

社会人学生の事情を考慮して、昼間に加えて、平日の夜間や週末及び夏季休業等にも授業または研究指導を行うことができる教育環境を整備。

長期履修制度を導入

長期履修制度を適用する場合には、6年を上限とする長期履修期間を設定する。要件として、職業を有している等の事情で授業科目の受講が制限され、学業専念が困難であると認められる場合、またはやむを得ない事情を有している場合とする。入学手続き時に所要の申請を行うこととする。長期履修生は、3年間の学費で最長6年間に在籍し、計画的に履修することができる。

施設の夜間利用

図書館は、大学院学生の修学時間に合わせて、月~金曜日においては8:45~22:00まで(長期休業期間、講義のない日は17:00まで)、土曜日は12:00~18:00まで利用できる。また、大学院生専用の研究室・共同演習室を整備している。

学生の教育研究環境

学生の研究室には、ネットワーク環境を整備したパソコン及び周辺機器、机、椅子及び個人ロッカーを学生全員分整備する。

入学者選抜の概要

1. 出願資格

【一般選抜】 次の各号のいずれかに該当する者

(1) 修士の学位または専門職学位を有する者
若しくは令和6(2024)年3月までに学位を授与される見込みの者(1年次修了者も含む)

(2) 外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者若しくは令和6(2024)年3月までに学位授与される見込みの者

(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職単位に相当する学位を授与された者、若しくは令和6(2024)年3月までに学位を授与される見込みの者

(4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を終了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、若しくは令和6(2024)年3月までに授与される見込みの者

(5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項にも規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学(以下「国際連合大学」という。)の課程を終了し、修士の学位に相当する学位を授与された者または令和6(2024)年3月までに授与される見込みの者

(6) 外国の学校、上記出願資格(4)の指定を受けた教育施設または国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(7) 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号)

○ 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科が当該研究の成果により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

○ 外国において、学校教育における16年の課程を終了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を、我が国において履修する事により当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科が当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者または令和6(2024)年3月31日までに24歳に達する者

【社会人特別選抜】

一般選抜に示す条件のいずれかの資格を有する者で、本博士後期課程入学までに大学卒業後または学士の学位取得後4年以上、または大学院修了後若しくは修士の学位取得後2年以上の社会的経験を有する者とし、有職者に限らない。

【外国人留学生特別選抜】

一般選抜に示す条件のいずれかの資格を有する者で、日本国籍を有しない者

2. 出願資格の認定

出願資格(6)~(8)に該当する者は、出願資格の事前審査を行うので、出願に先立って必要書類を提出し、出願資格の認定を受けた後、出願する。詳細は学生募集要項を参照すること。

3. 選抜方法

本博士後期課程の前提となる知識、能力が十分に備わっていることを入学試験で確認するために、各選抜区分に応じて、書面審査、筆記試験、口述試験により可否を判定する。

(1) 一般選抜 ○ 書面審査(修士論文等)
○ 口述試験

○ 筆記試験(外国語1科目)

英語または選択する地域の言語(ポルトガル語、スペイン語、中国語、琉球語など)から1科目を選択する。

※大学側で用意する語学辞書の使用可

(2) 特別選抜

① 社会人特別選抜

社会人特別選抜においては、専門的な学力検査とともに、多様な経歴についても評価の対象とする。それらを書面審査や筆記試験(小論文、外国語)、口述試験で判定する。

○ 書面審査(修士論文等)

○ 筆記試験(小論文、外国語1科目)

外国語試験は、原則として選択する地域の言語(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、琉球語など)から1科目選択する。

※大学側で用意する語学辞書の使用可

○ 口述試験

② 外国人留学生特別選抜

○ 書面審査(修士論文等及び日本語力調査書)
原則として日本語能力試験N1程度

○ 筆記試験(小論文)

※大学側で用意する語学辞書の使用可

○ 口述試験

※筆記試験と口述試験は日本語で行う

4. 入試日程

◆ 10月試験〔令和6(2024)年4月入学〕

◆ 試験区分：一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜

◆ 募集人数：2名

願書受付期間	試験日	合格発表	入学手続き期間
令和5(2023)年 9月11日(月)～9月15日(金) (消印有効)	令和5(2023)年 10月15日(日)	令和5(2023)年 11月1日(水)	令和5(2023)年 11月2日(木)～11月9日(木)

※必要書類を持参する場合は、各期間中、平日の午前9時から午後5時までの受付とする。

(注) 出願前に、博士後期課程において研究指導を希望する教員と連絡をとり、入学後の研究計画について事前に相談すること。

◆ 2月試験〔令和6(2024)年4月入学〕

10月試験で定員に満たない場合には、2月試験を実施する。実施については、12月初旬に名桜大学ホームページで案内する。

学 費 等

学費納入金

国際文化研究科			国際地域文化専攻（博士後期課程）	
			地域内	地域外
学 費	入 学 金		125,000 円	250,000 円
	授 業 料	前 期	267,900 円	267,900 円
		後 期	267,900 円	267,900 円
諸 経 費	後 援 会 費	入学手続き時	30,000 円	30,000 円
	学生教育研究・災害傷害保険	入学手続き時	2,600 円	2,600 円
	学研災付帯賠償責任保険	入学手続き時	1,020 円	1,020 円
合 計		初年度納入総額	694,420 円	819,420 円
初年度納入総額内訳		入学手続き時納入金	426,520 円	551,520 円
		後学期納入金	267,900 円	267,900 円

1. 地域内・地域外の入学金について

入学金については、志願票に記載されている事項に基づき、以下のとおり取り扱う。

- (1) 「地域内」とは以下の者のことを指し、入学金が「125,000 円」となる。
地域内に該当する者とは次のいずれかに該当するものをいう。
 - ①入学する者の卒業した出身高等学校が沖縄県北部12市町村に所在していること。
 - ②入学する者の住所が沖縄県北部12市町村にあり、令和5(2023)年3月31日以前から1年以上継続して在住していること。*
 - ③入学する者の保護者、配偶者または一親等の親族の住所が沖縄県北部12市町村にあり、令和5(2023)年3月31日以前から1年以上継続して在住していること。
*令和5(2023)年3月31日時点で1年以上の継続在住期間があることを指している。
- (2) 上記①～③以外の者は「地域外」となり、入学金が「250,000 円」となる。
- (3) 本学卒業生の入学金は、「地域内」の半額（62,500 円）となる。

※《沖縄県北部12市町村》とは
沖縄県の名護市、国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町、伊江村、伊平屋村、伊是名村のことを指します。

2. 外国人留学生の入学金及び授業料について

外国人留学生の入学金及び授業料については、本学規程に基づき、以下のとおり取り扱う。

- (1) 「留学」の在留資格により入国し、外国人留学生として入学する場合の入学金は、「地域外」の半額（125,000 円）となる。
- (2) 外国人留学生は入学年度において、一律に授業料の半額を減免することができる。
授業料減免は、入学年次の「前学期」から適用される。

入学後の奨学金制度その他について

経済的な負担軽減を図るため、国際地域文化専攻の大学院生を対象に奨学金制度や研究支援補助金制度を整備している。

奨学金制度

名 称：「名桜大学大学院平恒次ホモサピエンス研究奨励奨学金」

応募資格：名桜大学大学院国際文化研究科国際地域文化専攻（博士後期課程）に在籍する正規の学生

給 付 額：研修支援のために一人あたり 20 万円を一括交付します（在学期間内に 1 回の給付）

採 用 数：若干人

施設マップ CAMPUS MAP



公立大学法人

名桜大学
MEIO UNIVERSITY

〒905-8585 沖縄県名護市字為又1220-1

教務部 入試・広報課 TEL.0980-51-1056

FAX.0980-54-2429

e-mail nyushisodan@meio-u.ac.jp <https://www.meio-u.ac.jp/>